

平成25年度（2013年度） 学校評価表

【1】 学校教育目標と重点目標 「明るい学園 美しい心」

学校教育目標	(1) 人格の形成 (2) 社会人としての資質の向上 (3) 職業観の確立	・自然に親しみ、生命を守り育てる農業教育を通して、知・徳・体のバランスの取れた豊かな人間性を育てる。 ・個々の生徒の持つ能力を発展させ、自主的精神と実践力に富んだ、創造性溢れる人格の形成を目指す。 ・自らに誇りを持ち、平和で民主的な社会を目指す社会人としてふさわしい資質を養う。 ・一般教養やマナーを身につけさせると共に、農業や勤労体験を通して、正しい職業観を身につけさせる。
中・長期的目標	(1) 農業の持つ教育力を通して、体験的に自然環境や生命の大切さを身につけさせる。 (2) 地域に根ざした信頼される学校づくりをすすめる。 (3) 自ら学ぶ力を身につけ、進路希望が実現するように支援する。 (4) 社会常識やマナーを身につけ、社会で自立できる人材の育成に努める。	
今年度の重点目標	(1) キャリア教育について理解を深め、さらなる推進を図りながら、進路実現に向けた支援を行う。 (2) 学力向上、学力保障の体制を整える。 (3) 明るい学校を目指すため、積極的な活動を展開し、コミュニケーション力を養成する。 (4) 人権尊重の視点に立った学校づくりを推進する。	

【2】 今年度の重点活動及び総括

重点目標	該当部署	評価項目（重点活動）	評価の観点（具体的活動内容）	自己評価	自己評価に関する分析（来年度に向けて）
進路指導支援・キャリア教育	(1) 農業科全体	キャリア教育の充実	10のコースが特色ある授業を展開し、プロジェクト学習、校内及び校外実習、資格取得、地域交流などを通して勤労観・職業観及び職業人としての基礎的な能力や資質を身につけるように指導する。		
	①園芸科	勤労観の養成	栽培の基礎知識と技術を習得させ勤労観を養う。課題解決に向けた学習指導を行う。		
	②食品科学科	地域産業の理解と推進	特色ある地域資源を生かし、地域との連携を深め、商品開発に向けた活動を進める。		
	③農業経済科	資格取得の推進と積極的研究活動	各種検定上位級の合格を目指した指導を行う。校内外で研究活動を充実させ、研究成果を積極的に発信するとともに、企業との共同研究及び連携事業を進めていく。		
	④造園科	職業意識の深化	地域と密着した特色ある授業を展開する中で、職業に対する意識を深めさせる。		
	進路指導係	進路に対する意識を高める	企業研修、企業訪問、農家研修、進路講話等を通じキャリア教育を推進しながら進路に対する意識を高める。		
	教務係	キャリア教育推進のための支援	キャリアウィーク特別時間割の作成に当たって、キャリア教育担当者・学年・教科等との調整を行い円滑な推進を支援する。		
	1学年	自己理解・自己管理能力の育成	HRや宿泊合宿などにおいて自己を見つめる中で、基本的な生活習慣や忍耐力を身につけさせ、職業観を育成する。		

	2 学年	職業理解・進路選択	研修や講演会を通してそれぞれの特徴を知り、自らの進路選択・実現に役立てる		
	3 学年	進路実現への具体的努力	進路学習・学力向上・コース週間での研修などを通して進路実現のための力をつける。		
(2) 学力向上・学力保障	国語科	「話す・聞く」力の向上	音読指導やメモを取りながら聞く習慣づけの中で、「話す・聞く」力の向上を図る。		
	地歴公民科	授業での学力向上、学力保障	授業内容、授業方法の工夫をしながら、基礎知識を理解させ、定着を図る。		
	数学科	授業内容の定着、個別指導の徹底	授業内容の定着を図るため、少人数の習熟度別授業を展開し、補習や個別指導を行う。		
	理科	授業内容の定着、学力保障	中学の学習内容を含めた授業の内容、指導方法を工夫し、基礎知識の定着を図る。		
	英語科	「読む・書く」力の向上	単語練習（テスト）や音読練習（テスト）を継続する中で基礎力の向上や英語を前向きに使用しようとする態度を身につけさせる。		
	芸術科	授業内容の定着	生徒一人一人に応じた具体的な個別指導を行い、授業内容の定着を図る。		
	保健体育科	基礎体力の向上	体力作りのための運動を毎時短時間行い、基礎体力の育成を図る。		
	家庭科	基礎的な技術・知識の定着	知識として学んだことを、実習を通して身につけられるよう働きかけ、基礎的技術の定着を図る。		
	1 学年	朝学習の定着	基本的な生活習慣を整えさせ、学習する態度を養う。		
	2 学年	朝学習の継続と家庭学習の充実	朝学習を継続すると共に各教科の宿題課題を必ず行い、学力向上を図る		
	3 学年	朝学習の3年間継続	自力で答えを導く粘り強さと、基礎学力定着をはかる。		
	学習指導係	学力向上・学力保障の体制作り	「学ぶ姿勢」づくりや「基礎学力」をつけるための方策を充実させる。		
	生徒指導係	学ぶ姿勢、学習習慣をつける指導の徹底	特に1 学年において、学年および学習指導係と連携し、組織的指導を実施する。		
教務係	朝の学習、学び直しの体制作りの支援	学習指導係が、朝の学習および学び直しについて体制を作り推進していけるよう支援する。			
(3) コミュニケーション能力養成	1 学年	ルールやマナーの確認と指導の徹底	「身だしなみを整える、挨拶する、連絡する」を徹底し、基本的な生活習慣を身につけさせる。		
	2 学年	クラブ・委員会活動への積極的な参加	それぞれの活動で協調しながら、意見を出したり相手の話にも耳を傾けたりするなどして取り組む		
	3 学年	元気なあいさつ、相手を思いやる気持ちの育成	ことばや文章を通して自分を適切に表現し、社会生活を円滑に行う力を育成する。		
	生徒会	生徒会活動への積極的な参加	生徒会役員が広い視野を持ちながら生徒会行事を企画・運営し、個々の生徒が参加、活躍できるような場を提供できるようにつとめる。		
	農業クラブ	コミュニケーション能力の向上	校外イベントに積極的に参加し、農業クラブをPRしながら、コミュニケーション能力の向上を図る。		
	農業科全体	地域に開かれた学校づくりの推進	専門高校としての特色ある事業を展開し、地域との交流を深め、開かれた学校づくりに取り組む。		
	生徒指導係	学ぶ姿勢、学生としてのとるべき態度の指導強化	礼節のある身だしなみとコミュニケーションをとるように指導する。		
(4) 人権尊重の推進	全生徒 全職員	人権尊重の視点に立った学校づくりの推進	あらゆる教育活動において、人権が尊重される学習活動を通して日常的な人権教育を推進し、生徒が互いのよさや可能性を認め合える仲間づくりを行う。 生徒が安心して学べる環境を創れるよう教職員の人権意識の高揚を図る。		

